



跡地利用が検討されている旧県立山田病院



本木敏明議員

被災者支援

住宅の自力再建へ補助を

現在準備中である

**質問** かさ上げ地域の境界付近や区画整理を伴わない場所については、早急に自力再建をさせてほしい。

**佐藤町長** 災害危険区域外では建築基準法等をクリアすれば可能であり、境界ラインは年内に提示したい。

**質問** 町の自力再建支援策の具体的なものは何か。

**沼崎復興推進課長** 被災者が新たに購入した土地の造成費や水道工事費の一部負担

担であるが、金額は未定。すでに再建した人にも適用し、その期限は平成30年3月31日までとしたい。町外からの転入者に対しても同様に適用すべく検討していく。

**質問** 合併浄化槽の補助金希望者へは、全員に対応してもらいたい。

**佐藤上下水道課長** 補助金を希望している被災者全員に対応したい。

医療復旧

県立山田病院は旧跡地へ

それを含めて検討中

**質問** 県立山田病院の再建場所について、具体的な候補地選定を急ぐべきでは。

**佐藤町長** 現在、山田町復興計画のまちづくりの中に病院を位置付けることも

に、迅速な再建ができる町有地を中心に選定作業を進めており、決まり次第示し

たい。

**質問** その選定作業の中で、町長が考える最優先の必要

条件は何か示してほしい。

**佐藤町長** いかなる災害時にも病院や救護機能が損なわれない安全性を考える。  
**質問** 旧県立山田病院跡地は、9・7mの防潮堤と跡

地前の土地を4mかさ上げすることにより安全性は増大する。中心地のまちづくりとも相まり、利便性も高

く最適と思うが。  
**佐藤町長** その点は承知している。山田消防署との併設も含め検討中である。

水産行政

漁業復興に大胆な手法は

将来的には検討していく

**質問** 山田の漁業を中長期的課題として捉えた場合、例えば民間参入など大胆な発想が必要ではないか。

**佐藤町長** 現在は漁港施設などの災害復旧に取り組んでおり、手法やビジョンについてはその後に検討する。

**質問** 養殖作業場の復旧が全く進んでおらず、このままでは来年度以降の水揚げ対応に間に合わない。そこで岸壁のかさ上げを見越し

た、高い基礎構造での作業場の建設が急務ではないか。  
**伊藤水産商工課長** 作業場を造るのは町ではなく漁協であり、了承願いたい。

**質問** 県内の小学校391校のうち、学校給食を行っているのは山田町の8校だけであり、行政の怠慢と言える。

**佐藤町長** 怠慢ではなく、復旧・復興を優先させていく。

そのほかの質問

◆防潮堤について

◆JR山田線の復旧について